

豚疾病関連 中央家保情報 No.20 (H30-11) 平成30年11月21日

中国のアフリカ豚コレラの日本への侵入リスクが最大限に高まっています！！

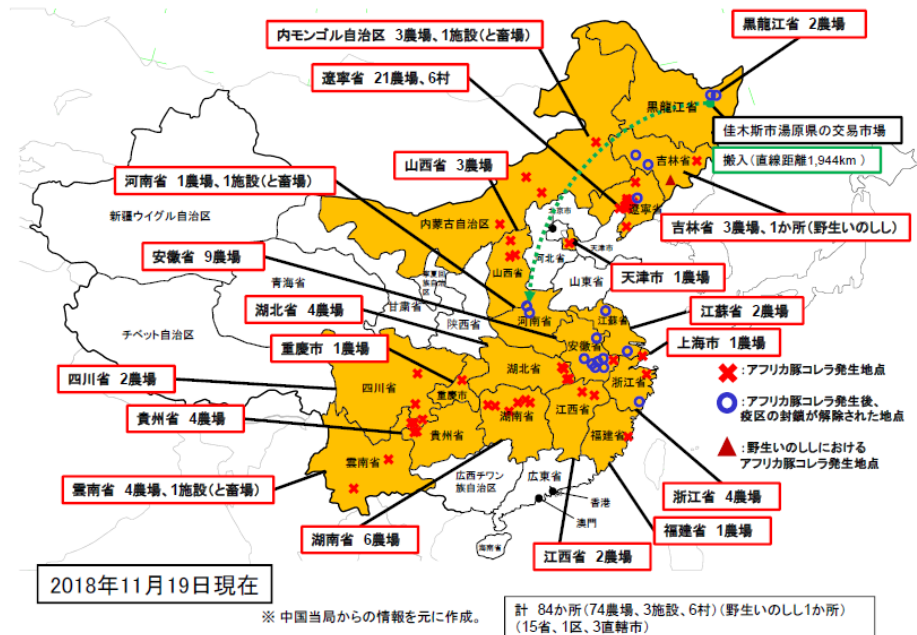
～中国で野生いのししにも感染を確認～

吉林省の死亡していた野生いのししから、アフリカ豚コレラウイルスが初めて確認されました。ヨーロッパでは、野生いのししを介してアフリカ豚コレラの感染が維持・拡大されていることから、現在の中国での発生状況を鑑みると、日本への侵入リスクは最大限に高まっていると考えます。

つきましては、国外での出来事とは考えず、下記の事項にご留意のうえ、発生防止対策に万全を期していただきますようお願いします。

- ☆ アフリカ豚コレラ、豚コレラ、口蹄疫等の発生国への渡航は可能な限り自粛してください。
- ☆ 衛生管理区域を明確にし、出入口での車両等の消毒の励行や野生動物の侵入防止を図る等、飼養衛生管理基準の遵守をお願いします。
- ☆ 生肉を含み、又は含む可能性がある飼料を給与する場合は、加熱処理（摂氏70度以上で30分間以上、又は摂氏80度以上で3分間以上）が適切に行われたものを用いてください。
- ☆ 「発熱、元気消失、食欲減退、結膜炎」又は「流死産」が複数の豚で認められた場合は、確実に届出るようお願いします。

中国におけるアフリカ豚コレラの発生状況



問合せ及び異常豚確認時の通報先；中央家畜保健衛生所
担当：藤岡・森田・久住 呂
TEL：0957-25-1331（夜間・休日は転送電話で対応します）
Eメール s34510@pref.nagasaki.lg.jp